

2023 年度後期 課目案内(*公開講座)				
曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	*公開講座「キリスト教倫理Ⅱ～どう生きる、聖書～」	4	共通選択	吉田真司他
月	新約聖書概論	4	共通選択	坂元俊郎
火	*公開講座「宗教学:日本の宗教性とキリスト教」	4	共通選択	石田学(日本ナザレン教団)
火	組織神学Ⅰ	4	共通選択	朴思郁
木	ギリシャ語を学ぼうⅡ:使徒言行録を読む	4	専攻科必修	城倉啓
木	礼拝学Ⅰ	4	共通選択	藤井秀一
金	*公開講座「旧約釈義:エゼキエル書を読む」	4	共通選択	日高嘉彦
金	牧会学	4	専攻科必修	友納靖史、松村誠一
土	*公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中臨在
土	礼拝音楽	4	音楽本科必修	菊地るみ子
	卒業論文	6	専攻科必修	城倉啓(コーディネーター)
冬期講座	*「LGBTとジェンダー問題とキリスト教:性の多様性を知って浮かび上がるジェンダー問題」	2	12月26～27日	平良愛香(農村伝道神学校校長)

☛「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。

＜東京バプテスト神学校 後期開講方針＞	
東京バプテスト神学校後期授業は、10月10日(火)から始まります。後期においても、教会音楽科の一部の授業を除いて基本オンラインで行います(ライブ通信、ビデオ通信)。なお、12月26日(火)～27日(水)の冬期公開講座は、茗荷谷キリスト教会を会場にオンライン併用で行います。	
①後期始業礼拝は10月6日(金)を予定する。 ②授業開始は10月10日(火)を予定する。10月10日(火)～16日(月)はオープンウィークとする。 ③受講は、基本オンライン通信受講とする(ライブ通信またはビデオ通信)。 なお、オンライン授業の教室受講希望者は、事前に事務局へ連絡する。 ④会議(理事会、スタッフ会、教師会、など)は原則としてオンラインで行う。	

2024 年度 開講予定課目一覧(*公開講座)			
前期課目名	担当講師	後期課目名	担当講師
*「箴言を読む」	小林洋一	*「神学特講～新約聖書」	(交渉中)
*「礼拝学Ⅱ～みんなの礼拝」	福永保昭	*「牧会カウンセリング」	今給黎眞弓 杉山いずみ
*「説教学～みんなの説教」	富田直美	*「説教演習」	(交渉中)
「ヘブル語初級」	城倉啓	「ヘブル語中級」	城倉啓
「教会史Ⅰ～通史」(キリスト教史)	片山寛	「教会史Ⅱ～バプテスト史」	大西晴樹
「教会学校論」	矢野由美	「教会音楽概論」	江原美歌子 小松澤恵
「旧約聖書神学概論」	日高嘉彦	「新約聖書神学概論」	平野健治
「神学入門」	濱野道雄	「組織神学Ⅱ」	朴思郁
*夏期公開講座「カルト問題」	齋藤篤(日本基督教団仙台宮城野教会牧師)		

☛開講課目および担当講師は変更する場合があります。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索



2023 年度後期 東京バプテスト神学校受講案内

本 科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

【願書受付】 入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)
* 願書に必要事項を記入の上、9月8日(金)までに郵送してください。
* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。
(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)
* 専攻科は、後期入学は受け付けません。「聴講」のみ可能です。
* 公開講座受講者は入学手続き不要です。

【入学面接】 9月22日(金)午後6時30分
* 入学・聴講面接
* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】
10月6日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会

【学 期】 ・後期 10月10日(火)～2024年2月29日(木)
＜冬期休講 12月18日(月)～2024年1月5日(金)＞

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分～8時30分
* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分～午後3時30分

【入学金】 ・本科 100,000 円
・信徒リーダー養成コース 50,000 円
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000 円
* 後期の専攻科入学はありません。

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1 課目 4 単位 25,000 円、2 単位 12,500 円
・聴講生 1 課目 4 単位 30,000 円、2 単位 15,000 円

【設備費】 一律 5,000 円(半年間、前期に 10,000 円支払い済みの方は不要)

【通信受講】 通信受講の場合、1 課目 5,000 円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。
・ある 1 課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。
・卒業生、牧師、後援会会員は1課目 4 単位 30,000 円が半額 15,000 円となります。但し単位は取得できません。

2023 年度後期 講義シラバス（＊公開講座）

＊公開講座「キリスト教倫理Ⅱ」 月曜日 4単位 吉田真司他

キリスト教倫理、それは「キリスト教信仰に基づいてどう生きるか」ということ。すなわち「生き方」への招き・促しである。「教会」は決して世と隔絶した空間ではない。世界のただ中に立つ存在である。その世界に厳然としてある諸課題・問題に向き合う各特別委員会の宣教の視点（聖書をどう読み）と取り組み（聖書にどう生きるか）を通して学び、問われて、それぞれの教会の宣教課題として捉えて欲しい。それぞれの委員会の取り組みに関して言えることは、いずれも人間の生命や生存権、人権に関する取り組みであり、「人間を人間として見る」差別なき社会の実現というビジョンが共通している、ということである。「自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられた」（フィリピ2:7）イエス・キリストの生き様に倣い、その福音を生きていく者へと共に招かれる、そんな実践神学となることを期待する。

・テキスト＆参考書：当日講義資料として配布予定

靖国神社問題特別委員会 / 公害問題特別委員会 / 日韓・在日連帯特別委員会 / 部落問題特別委員会 / 障がい者と教会委員会 / ホームレス支援特別委員会 / 性差別問題特別委員会 / ハラスメント対策委員会

「新約聖書概論」 月曜日 4単位 坂元俊郎

①新約聖書の各巻の歴史的・宗教的・政治的背景、神学的特徴及びレポートの書き方等を学びます。

②新約聖書の使信が現場の教会や現代社会の課題に何を問いかけているかを考えてみます。

・テキスト：「新約聖書概説」（原口尚彰著：教文館発行）

・参考書：「新約聖書の周辺世界」（NTD補遺シリーズ1/E・ローゼ著・加山久夫訳：日本基督教団出版局）

＊公開講座「宗教学」 火曜日 4単位 石田学

人だけが神を想い、死後について思索し、自らの存在の意味を問います。その意味で、宗教性は全人類に共通する特質だと言えるでしょう。しかし、宗教性はそれぞれの文化、歴史、風土、社会などにより、多様な形態で具現化してきます。わたしたちはこの講座で、日本における宗教性の特徴と、その現れとしての天皇制の問題を考察します。そのうえで、なぜ日本でキリスト教が受容されにくいのかを、宗教性についての視点から考えてみましょう。最後に日本社会においてキリスト教はどのような使命と可能性を持つかを義論したいと思います。講座はパワーポイントを用いたプレゼンテーション形式でおこない、毎回の最後に質疑応答・懇談の時間を取ります。

・参考書：石田学『日本における宣教的共同体の形成 使徒信条の文脈的注解』新教出版社

越川弘英編著、石田・松田・鈴木・濱野著『宣教ってなんだ？』キリスト新聞社

「組織神学Ⅰ」 火曜日 4単位 朴思郁

本講義は、組織神学の基本的な概念や主題を学習し、神学的な知識を習得し、神学的な思考を深めることを目指しています。そのために、組織神学の主要なテーマ（神学の方法論、神論、人間論、キリスト論、聖霊論、救済論、教会論、終末論など）を「神と世界」、「イエス・キリストと人間」、「聖霊と共同体」の三つに分類し、それぞれの内容と争点を扱います。「組織神学Ⅰ」では、「神と世界」、「イエス・キリストと人間」を中心に講義を行い、現在の状況に関連する話題も取り上げます。基本的には、ダニエル・Lミグリオリの『現代キリスト教神学—理解を求める信仰（上）』をテキストとして使用し、組織神学の主要な内容を包括的に学びます。講義を通じて、信仰の在り方や教会形成、福音宣教など、現代のテーマにも触れながら学ぶことを期待しています。

・テキスト：①ダニエル・Lミグリオリ『現代キリスト教神学—理解を求める信仰（上）』（日本キリスト教出版局）

②寺園喜基・金丸英子『バプテストの信仰』（日本バプテスト連盟宣教研究所）

「ギリシャ語Ⅱ：使徒言行録を読む」 木曜日 4単位 城倉啓

「原典で聖書を読むことは10冊の注解書を読むことにまさる」と言われます。聖書を原典で読みたいという志を心から応援しています。使徒言行録は聖書内にある唯一の「教会史」です。著者はルカ。パウロの友人でありギリシャ語を第一言語とするギリシャ人です。物語であるので書簡よりも読みやすい文体ではあります。しかし第一言語話者による散文なので省略その他癖があります。

まずは単語を品詞に分類し、ばらばらに分析します。次に意味を成す一文へと統合していきます。ギリシャ語から日本語への翻訳のポイントは「時称の違い」「分詞の述語的用法」「不定詞の用法」です。いざ原典の大海原へ。

・テキスト：Nestle-Aland Novum Testamentum Graece, Deutsche Bibelgesellschaft Stuttgart (26版以降)

・参考書：大貫隆『新約聖書ギリシア語入門』岩波書店（初版2004年）
岩隈直『増補改訂ギリシャ語辞典』山本書店（増補初版1982年）

「礼拝学Ⅰ」 木曜日 4単位 藤井秀一

教会の活動の中心は「神礼拝」です。「神礼拝」を行う集まりが「教会」であるとも言えます。この教会にとって重要な「礼拝」は、今活き活きとしているでしょうか？ このクラスは、バプテストの礼拝学の教科書といわれる「キリスト者の礼拝－神学と実際」をテキストに、キリスト教の礼拝の歴史、神学、実践等を広く知るとともに、各教会の礼拝式の現状、課題、新たな可能性と刷新について、講師と学生同士で対話し、深めていくクラスです

・テキスト：「キリスト者の礼拝－神学と実際」（フランクリン・M・セグラール等/キリスト新聞社）

・参考書：「キリスト教礼拝・礼拝学辞典」（日本基督教団出版局）

＊公開講座「エゼキエル書を読む」 金曜日 4単位 日高嘉彦

エゼキエルは時代の終焉に立ちつつ、その先にある始まりに目を注ぎ続けた預言者でした。また宗教社会学者M.ヴェーバーは、祭司が既存の組織・秩序を守る保守的な立場を取るのに対し、預言者は既存のものを批判し破壊する革新的立場を取ると説明しています。しかし、エゼキエルは祭司と預言者という相矛盾する役割を自身の中に体現した希有の人物でした。破壊と創造、死と復活という相容れない裂け目の中に身を置き続けたエゼキエルは、従来の預言者とは一線を画すユニークで破天荒な性格を持っており、そのために私たちの理解を難しくし、それだけに私たちを魅了し続けています。この講義では、序論ではユダ王国末期から捕囚時代の歴史を通して『エゼキエル書』を理解し、本論では主要な章を読み解きます。なお1回から6回までは講義を中心に、7回から15回は在学生による発表と講師や受講生との対話を通じて授業を進めます。なおカメラはオンにして下さるようお願いします。

・テキスト：講師は「聖書・協会共同訳」を使いますが、受講生はどの訳書でも構いません（参考書は講義の中で紹介）。

「牧会学」 金曜日 4単位 友納靖史、松村誠一

前半(松村)： ・牧師の職務、役割りとは何かを「バプテスト教会の形成」(N・Hメアリング/W・S・ハドソン)、また「バプテスト教会における牧師の働き」(宣研ブックレット)その他から学ぶ。 ・バプテスト教会の重要な活動である教会学校を通しての牧会の在り方を一教会の事例を通して学ぶ。 ・ウイークデー・ミニストリーを通しての牧会を一教会の事例を通して学ぶ。 ・家族への伝道・牧会、その現状と課題(信仰の継承)について学ぶ。

・テキスト：その都度「資料を配布」

後半(友納)： ・テキストより問われる、神と隣人また自分に「きく」こと、「祈り・聖書・霊的導き」の恵みを生活に受肉するためのバランス感覚(信仰)をどう育むか ・更に「牧会」という長い旅路を主と共に健全に歩み続けるために必要な携行品(全人的苦痛とケア・境界線<ハウンダリース>・レジリエンス<回復力>等)の理解と学びを深めたい。

・テキスト：『牧会者の神学』(E.H.ピーターソン著) / ・参考書：PPデータ配布と都度紹介

＊公開講座「合唱」 土曜日 2単位 山中臨在

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って、一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさ、そしてその意義を、合唱を通して学ぶ。また、神学校の入学式、卒業式、演奏会等で神学校聖歌隊として奉仕する。本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。

・テキスト：歌唱する楽譜を授業にて配布します。数百円程度の実費をお支払いください。

「礼拝音楽」 土曜日 4単位 菊地るみ子

礼拝とは、礼拝音楽とは何か。その目的。聖書的根拠。バプテスト教会の礼拝における音楽の働き、リーダーの役割、プログラム作りを学び、礼拝音楽の学びを言語化できるようにします。